

JCF MTB XCO ジャパンシリーズ雫石 STAGE レースレポート

開催日 6月14日(土)

天候 曇/雨

周回数 5周回(1周 4.2km)

結果 12位(出走 54名)

MIYATA-MERIDA BIKING TEAM 恩田祐一

前回の富士見大会から2週空いてのJ1レースが岩手県雫石町で行われた。

富士見を6位で終え、その後長野県小谷村で行われたヒルクライムのレースを経ての今レースだったが、練習量を落とし、マッサージにも行き、コンディションをしっかりと整えて雫石入りする事が出来た。

レース2日前の午後に現地入り。この日はコースクローズだったのと、外は雨模様だった為、室内で1時間ローラーを漕ぎ、移動で固まった筋肉をほぐした。

レース前日も朝から雨が降っていた。この日は午前会場入り。監督、IRCサービスマンと打ち合わせを行い、タイヤを雨用のSTINGOでいく事を確認した。この条件であればSTINGOがベストな選択であり、あとは空気圧やサスペンション等の微調整に注意を払う事にした。

コースは昨年とそれほど変わりなく、登って下るという単調なプロフィールではあったが、雨で滑る路面に苦戦した。レース当日はバイクを降りて押す事がおおいに予想された。短いスピード練習も織り交ぜ、筋肉や心肺に刺激を入れたが、コンディションの良さを感じる事が出来た。

レース当日は、いつも通り朝食前に30分脚をまわし、体を目覚めさせた。この日も朝から雨が降ったりやんだりの天気だった。しっかりと朝食、昼食をとり、レース2時間前に会場入りした。

到着後すぐに監督、IRCサービスマン、HOLMENKOLサービスマンと打ち合わせを行い、不安要素無くレースに臨める状態が整った。

今回は泥レースになるので、シューズ、ウェアに HOLMENKOL の防水スプレーハイテクプルーフを吹きかけ、少しでも泥の付着を防ぐ工夫をした。

給水、補給等の準備を終え、ローラーでのアップを入念に行い、筋肉、心肺にしっかりと刺激を入れた。コンディションの良さをスタート直前でも感じる事が出来た。

今回もスタートは 6 番コールの 1 列目。スタートから良い位置をキープし、上位を狙っていきたい。

14 時、雨が降ったりやんだりの天気の中スタートが切られ、5 周回で争われるレースがスタートしたが、痛恨のペダルキャッチミス。スタートで大きく出遅れてしまった。焦る気持ちを抑えて、すぐに始まる登りで抜けるだけ抜いて、押し区間に入った。上位陣の出方を伺いつつ、レースしやすい順位まで上げ、下り区間に入った。前日の試走とはまるで違い、深い泥コンディションになっていた。バイク操作が難しく、少しでもラインを外すとコースアウトや転倒してしまうテクニカルなコースで、押しの区間も自分にはあった。

1 周目はゆっくりではあったが転倒も無くすんだが、2 周目以降は毎週複数回転倒、ハンドルがよじれ、それを直すのに時間を費やし、その度に順位を大きく落としていった。平坦と登り区間である程度順位を取り戻す事は出来るが、下り区間で転倒。集中力も欠け、また転倒。全く波に乗る事が出来ず、体力も消耗し、12 位でフィニッシュ。

今回は、はっきり言って何も出来なかったレースだった。泥に遊ばれて終わってしまった。改めて自分の技量の無さを痛感したし、自分自身に嫌気がさした。しかし、レース後に、悔しいという感情と、絶対上手く、速く、強くなってやるという感情が沸いてきた。この感情がある限り、前を向いて全力で頑張りたいと思うし、必ず笑える日が来ると信じて日々努力を続けたい。そして、もっと準備に頭を使う事も忘れないようにしたい。泥対策は万全だったのか。何か策はあったのではないかな。もっと貪欲にならなければいけないと感じた。

雨で泥コンディションの中、バイクの整備、フィード等をしっかりサポートし

てくれたチームスタッフ。的確なアドバイスをくれた IRC サービスマン、HOLMENKOL サービスマン。僕達選手はこの人達の支えがあるからレースに集中出来るし、頑張れる。本当にありがたい存在だ。

そして、会場で応援をしていただいた方々にも感謝したい。足下悪い中、スキーの仲間も会場に駆けつけてくれ、懐かしい声を聞きながらレースをする事が出来た。良い走りを見せたかったが、自分の技量の無さでそれを実現出来なかったのは心残りだが、次会場に来てもらう時にはもっと進化した姿を見せたい。

次戦は約 1 ヶ月後の全日本となるが、限られた時間の中でレベルアップ出来るよう、精一杯努力したい。それまでに可能な限り色々なレースに出場し、レース勘を鈍らせないようにしたい。そして、結果を求めて走りたいと思う。今回は良い結果を報告出来なかったが、引き続きご声援、サポート、よろしくをお願いします。

バイク : MERIDA / BIG.NINETY-NINE

タイヤ : IRC / (F)(R)STINGO

ケミカル : HOLMENKOL

チェーン : ルーベエクストリーム、 ダートプロテクター

フレーム : スポーツポリッシュ、 アクアスピード

リム、スポーク : アクアスピード

クリーナー : ライニガー、スポーツクリーン、バイクウォッシュ、クリーナー8in1

ウェア、シューズ : ハイテクプルーフ

サングラス : ノーフォグ

ヘルメット : KOOFU / WG-1

グローブ : KABUTO / PRG-3

サングラス : CARRERA / C-TF02 レンズ (NXT)

時計 : POLAR / RC3 GPS (心拍 MAX185 AVG170)

ネックレス : SEV

ドリンク : グリコ / パワープロダクション

サプリメント : グリコ / パワープロダクション

インソール : ホシノ B+Insole

パーソナルスポンサー : アークコミュニケーションズ



©RYUTA IWASAKI